

第3回 南の星小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2022年12月13日（火）10時30分から11時30分まで
 - 2 開催場所 南の星小学校 会議室
 - 3 出席委員 鈴木美佐男、小林睦夫、原川 翼、内山いずみ、
YAMAMOTO IRFAN、佐藤政美、
 - 4 欠席委員 井口裕士、GOMES ALINE、澤井友美
 - 5 オブザーバー 角屋善紀（五島協働センター センター長）
 - 6 学校支援コーディネーター 佐藤政美、澤井友美
 - 7 学校 須藤邦夫（校長）、長坂明典（教頭）、林裕一（CS担当職員）
井上美和（CSディレクター）
 - 8 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
 - 9 傍聴者 なし
 - 10 会議録作成者 CSディレクター 井上美和
-
- 11 協議事項
 - (1) 議長の選出について
 - (2) 熟議
 - ①本年度の学校運営の成果や課題について
 - ②学校の教育活動の様子や要望等を把握する方策について
 - ③学校の要望にあった人材バンクの在り方について

 - (1) 議長の選出について
司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、小林委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

 - (2) 熟議
 - ①本年度の学校運営の成果や課題について
校長から、別紙資料に基づき今年度の学校の主な取り組みと、成果及び反省・課題について説明があった。
 - ②学校の教育活動の様子や要望等を把握する方策について
以下の内容について佐藤委員より発言があった。
 - ・先生方に今後の学校行事の内容やどういう活動の時にどういった支援が必要となってくるのかを伺って行こうと考えている。委員の方々にもご意見等を聞かせて頂き、参考とさせてもらいたい。※別紙の会議メモに記入頂き、後日提出頂くこととした。

③学校の要望にあった人材バンクの在り方について

教頭から、資料より、昨年度学校で作成した地域の方への講師依頼や保護者等のボランティア依頼の人材バンクについて説明があった。

以下の内容について、委員からの意見を求めた。

- ・地域の方への講師依頼は、文化的な講師が多いように思う。スポーツテストの前にボールの投げ方や走り方を指導するスポーツの講師などが来てくれるとよい。

(小林委員)

- ・浜松祭りに参加している町もある。祭りの文化を伝承する方々を講師として招くのもいいのではないか。(小林委員)

- ・地域の人材をとにかく集めたいのか？学校の教育目的に即した人材を地域から集めたいのか？(鈴木委員)

※今までは、地域の方への講師依頼については、教員の個人的な繋がりがある方々に対して、学校の教育目的にあった講師に依頼し来て頂いている状態。保護者の方々のボランティアは、人手としてもいただけると学校としてもありがたい。(教頭より)

- ・今後、地域の方に講師依頼を行う上で、名簿に載せたけど学校活動の中で呼ばれないこともあるかも知れない、等の説明と了承が必要となってくると思われる。

(鈴木委員)

- ・学校と運営委員会双方の、人材バンクの在り方に対するすりあわせが今後必要。(小林委員)

- ・学校支援コーディネーターとしては、専門家や講師といった方々ではなく、給食や校外活動時の見守りといった、子供達を支援するための労働力としてのボランティアとしての人材を募集していきたい。(佐藤委員)

- ・遠足での身支度など、自治会(協働センターで様々なクラブ活動をされている方々など)から人材が集まるのではないか。(佐藤委員)

- ・人材の募集や告知の仕方はどうしていくか？今後学校との相談が必要。(小林委員)

- ・協働センターは地域に根付いた活動の中で、講師の方を色々と呼んでいる。

学校とのニーズがあれば、協働センターをしてもお手伝いできる方をリストアップできると思う。(オブザーバー角屋様)

- ・講師によっては謝礼を頂きたいという方もいると思う。

学校としてはボランティアでお願いしたいと思っているのか？(鈴木委員)

※保護者等のお手伝いはボランティアでお願いしたい。講師としての依頼の場合は、適宜謝礼も可能。できれば、ボランティアでという場合が望ましい(教頭より)

熟議終了。

(3) 連絡事項

- ・ 第4回学校運営協議会開催日時の確認
司会より、次回会議は令和5年2月17日(金)14時30分から16時 会議室で開催する旨の報告があった。
- ・ 学校運営協議会自己評価の実施について (CS担当教員より)
自己評価用紙の記入と提出 (締切12月22日(木))